

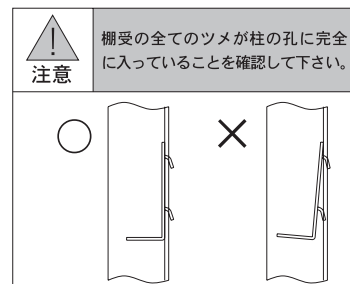
積載限度を正しく守りご使用ください

棚板一段当りの最大積載質量（等分布質量）は150kg/段です。

棚一台当りの最大積載質量は1000kg/台です。

 警告	（死傷につながる場合がある事故を未然に防ぐために、必ず守っていただきたい事項を示してあります）
 禁止	棚板の一部に集中的に質量をかけないで下さい。最大積載質量以上に荷を載せないで下さい。 棚一段当りの積載限度は等分布質量です。一部に集中して質量をかけたり、最大積載質量より重いものを載せると棚板にたわみが生じ、格納物が落下し、けがをする恐れがあります。 ボルト・ナットをはずしたり、ゆるんだまま使用しないで下さい。 重大な事故を招く恐れがあります。 足を掛けたりよじ登ったりしないで下さい。 ラックが倒れてけがをする恐れがあります。
 実施	解体をするときは組立手順を逆に行って下さい。 部品が外れたり、棚の転倒等の事故になる恐れがあります。 廃棄するときは、専門業者にお任せ下さい。

 注意	（負傷または、物的損害を未然に防ぐために、必ず守っていただきたい事項を示してあります）
 禁止	棚や柱に強い衝撃を与えないで下さい。 乱暴な荷物の積み下ろし、不安定な収納はしないで下さい。 棚本体に寄りかからないで下さい。 製品の孔や隙間に指を入れないで下さい。 異常を発見したまま使用しないで下さい。 傾倒している場所には設置しないで下さい。 雨水、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
 実施	地盤の安定した水平な場所に設置して下さい。 段替時に棚受の全てのツメが柱の孔に完全に入っていることを確認して下さい。 最上段の棚板に荷物を載せる場合は十分に注意して下さい。 危険物(薬品・壊れ物等)の収納には十分に注意して下さい。



※この商品を第三者に譲渡、貸出しを行う際は、本取扱説明書を添えてお渡しください。

本取扱説明書は、大切に保管してください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** E-mail: techno.center@trusco.co.jp
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1丁目34番地15号 お客様相談室 ☎ TEL 0120-509-849
☎ FAX 0120-509-839

日本製



軽中量棚“TLA型” （中棚ボルトレスタイプ） 取扱説明書

150kg／段

このたびは「軽中量棚“TLA型”」をお買い上げいただき誠に有り難うございます。
安全にお使いいただくために注意事項をお守りいただき、
正しい方法にて組立てご使用下さいますようお願い申し上げます。

組立て方法 [開放型]

組立て上の
注意

- 組立ては広い場所で行ってください
- 不安定な床面に設置しないで下さい
- 手袋を着用して組立ててください

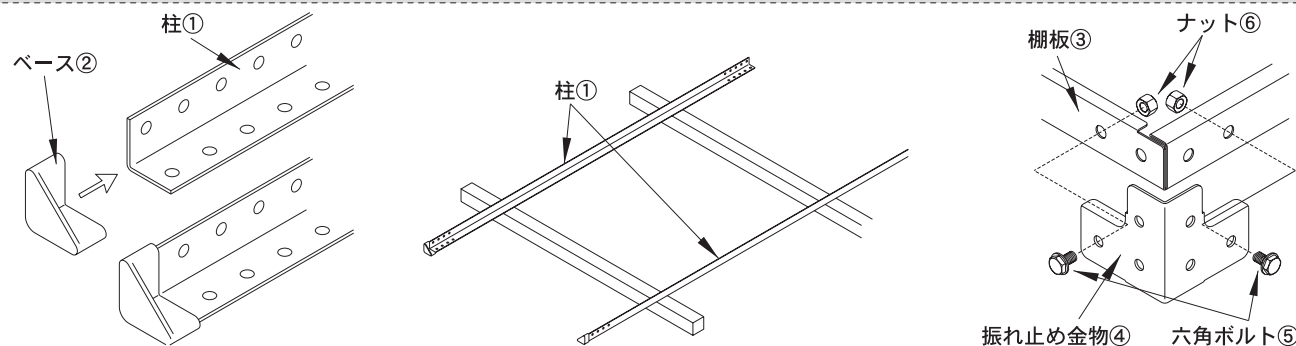
組立て方法 [背板・側板付]

軽中量棚“TLA型”

150kg／段

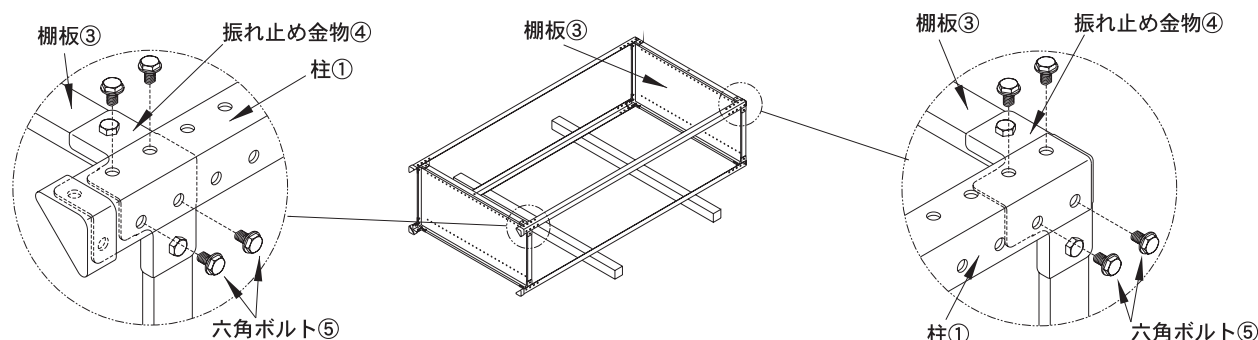
1 ▶▶▶ 組立て準備

- ①プラスチックベース②を取付けた柱①2本を、向かい合わせになるように並べます。
(図のように下に当木を敷くと作業がしやすくなります。)
- ②棚板③の四隅に、振れ止め金物④を両端の孔のみ六角ボルト⑤とナット⑥で仮固定したものを2組用意します。



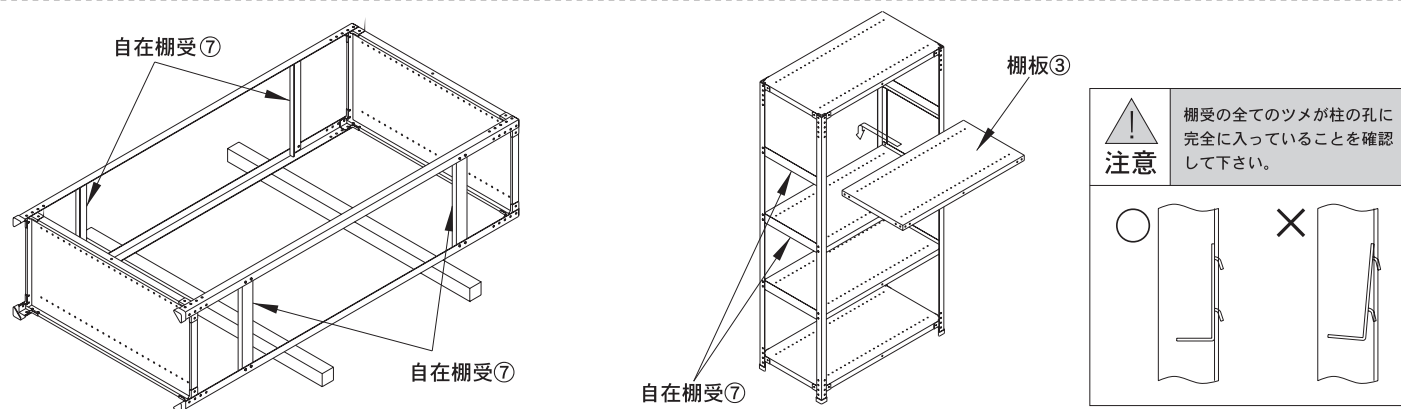
2 ▶▶▶ 棚の組立て

- ①次に棚板③と柱①の間に振れ止め金物④をはさむ形で最上段と最下段を共締め(仮締め)します。
(最下段の棚板は柱の下端から3つ目の孔に取付けます。)



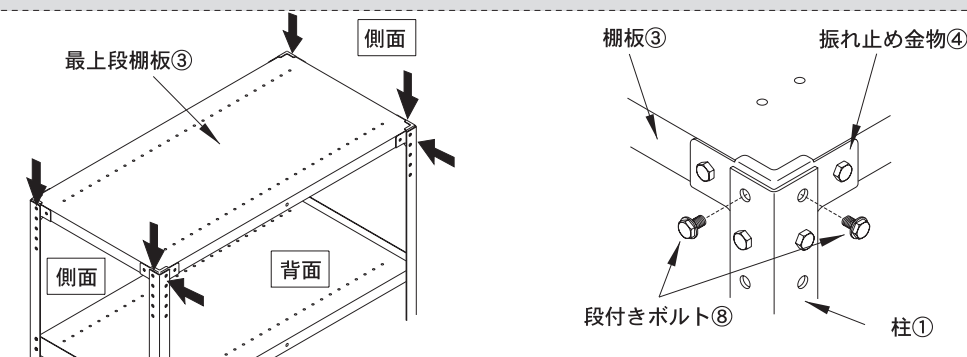
3 ▶▶▶ 本締め、棚板の取付け

- ①最上段と最下段近くの適当な場所に自在棚受⑦を仮にセットし、ゆがみをとってから各ボルトを本締めします。
- ②棚を起こして、任意のピッチ数に合わせ自在棚受⑦をセットし、棚板③を載せます。
※高さ1800、2100、2400で間口1500及び1800の棚は、揺れ制御のため中央の1段を柱の正面と背面からボルトで固定することをお薦めします。



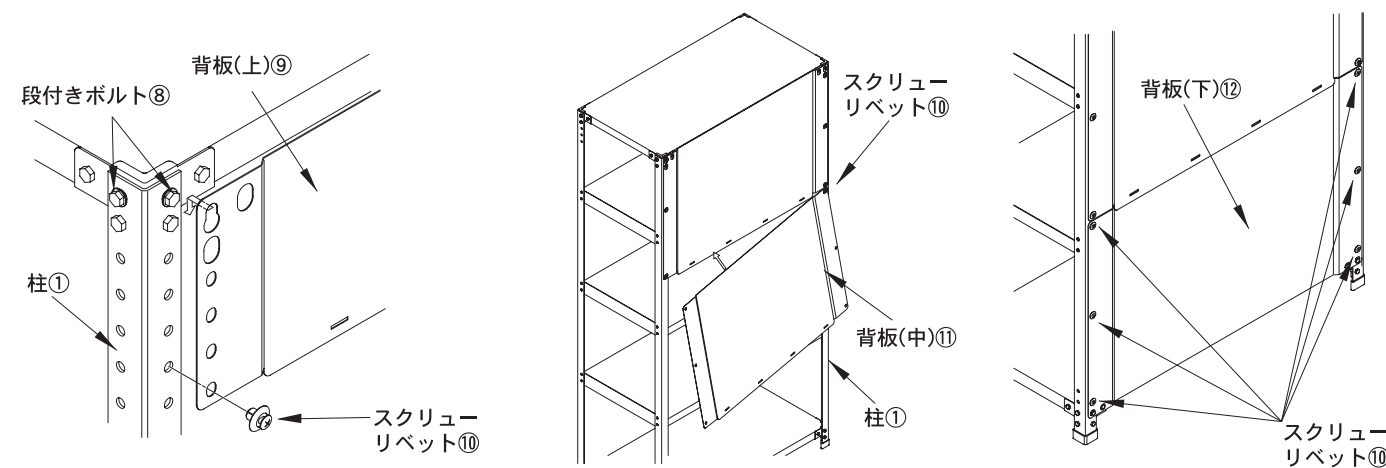
1 ▶▶▶ 棚の組立て

- ①左ページの[開放型]を組み立てる要領で本体を組立て、本締めします。但し最上段棚板③を止めるボルトのうち、側面と背面の6ヶ所に段付きボルト⑧を使用します。



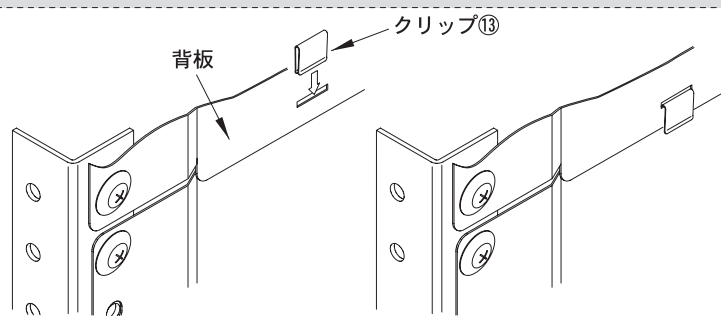
2 ▶▶▶ 背板の取付け

- ①背板(上)⑨を背面の段付ボルト⑧に掛け、最上段棚板の見付け面と柱①にスクリーリベット⑩を差し込みます。柱に差し込むスクリーリベットは空いている孔ならどこでも構いません。(スクリーリベットの取付けはネジ部を押し込み装着します。)
- ②背板(中)⑪の左右どちらかの上端を柱①にスクリーリベット⑩で取付け、次に反対側の上端を柱に取付けます。背板(中)⑪を水平に取付けた状態で残り4カ所にスクリーリベット⑩を差し込みます。同様に背板(下)⑫を取付け、最下段棚板にもスクリーリベット⑩を差し込みます。



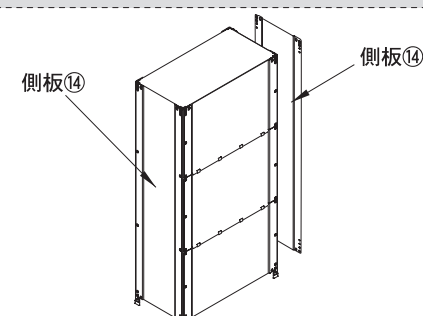
3 ▶▶▶ クリップの取付け

- ①背板の角孔にクリップ⑬を差し込み、上下の背板を連結します。



4 ▶▶▶ 側板の取付け

- ①背板と同様に側板⑭を棚の側面に取付けます。

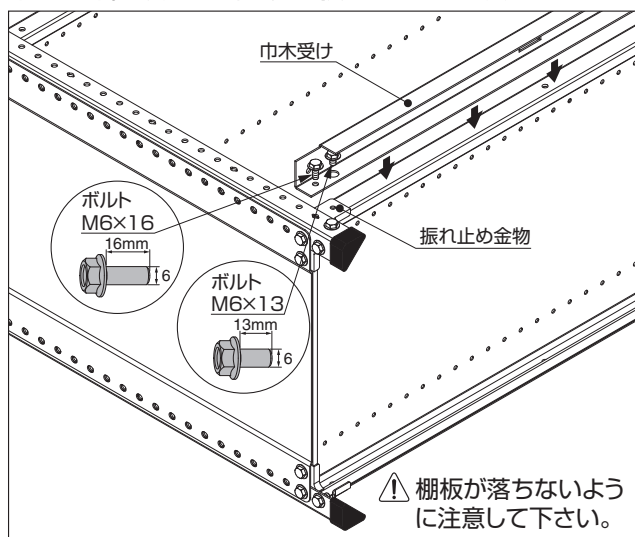


組立説明書 [シャッターユニット]

軽中量棚 TLA型

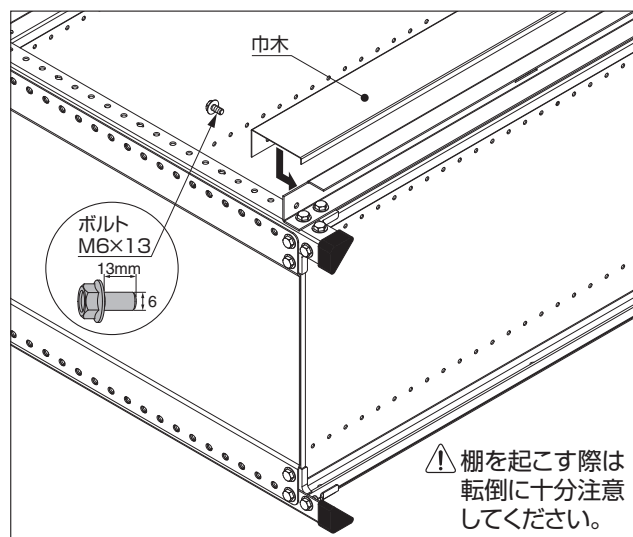
※TLA型軽中量棚本体を組立て後にシャッターを取り付けます。

- 1** 棚本体下部の振れ止め金物を留めている前面のボルト(右2本、左2本)を外し、巾木受けを振れ止め金物と共締めします。

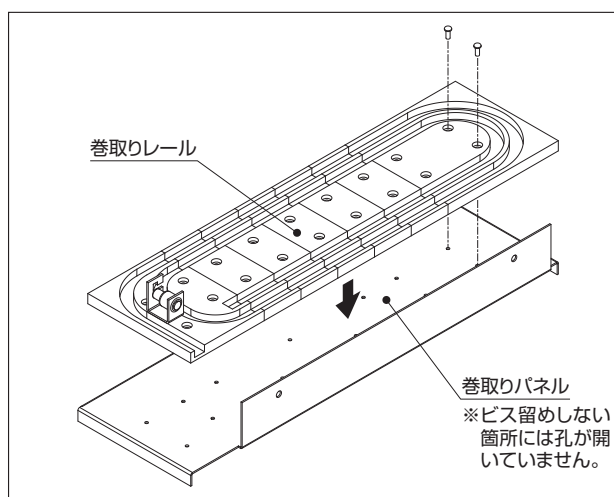


※棚を起こした状態では手を入れにくいので、シャッター取り付け側を上にして斜めに寝かせた状態で取り付けます。

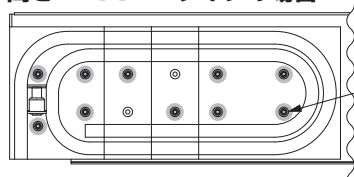
- 2** 巾木受けに巾木をボルトで取付け、棚を起こします。



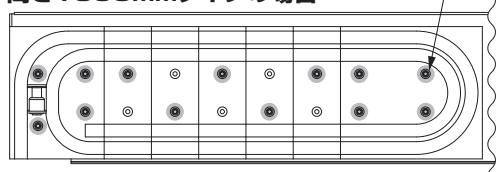
- 3** 巻取りパネルに巻取りレールをビス留めします。右用と左用の2セット用意します。



高さ1200mmタイプの場合



高さ1800mmタイプの場合



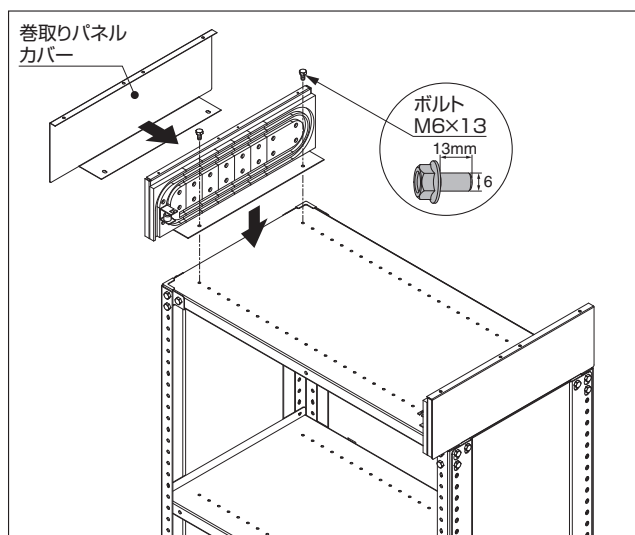
※グレー(●)の箇所のみビスを取り付けます。

タッピング
ネジトラス
M4×16

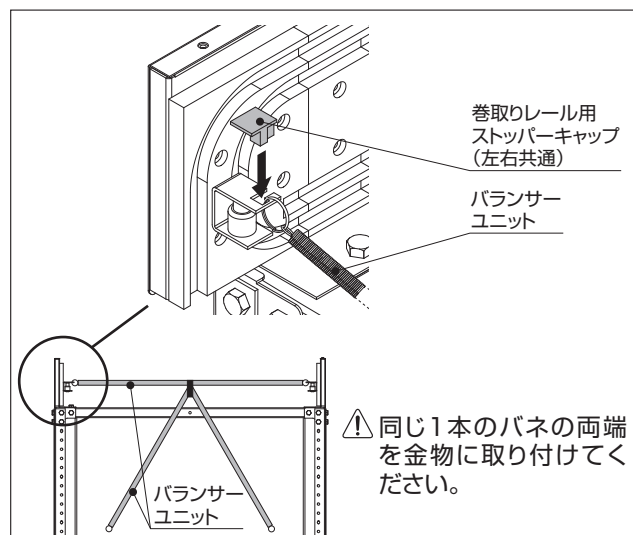
16mm

4

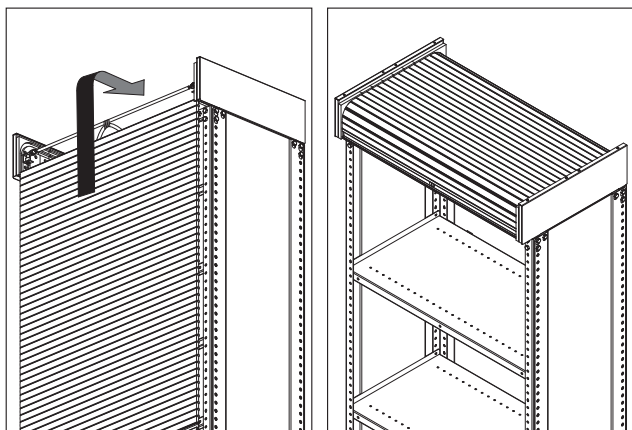
- 4** 巻取りパネルと巻取りパネルカバーを組み合わせ、天板に共締めします。



- 5** バランサーユニット先端のリングを巻取りレールの金物に取り付け、上から外れ止めのストッパーキャップを取り付けます。

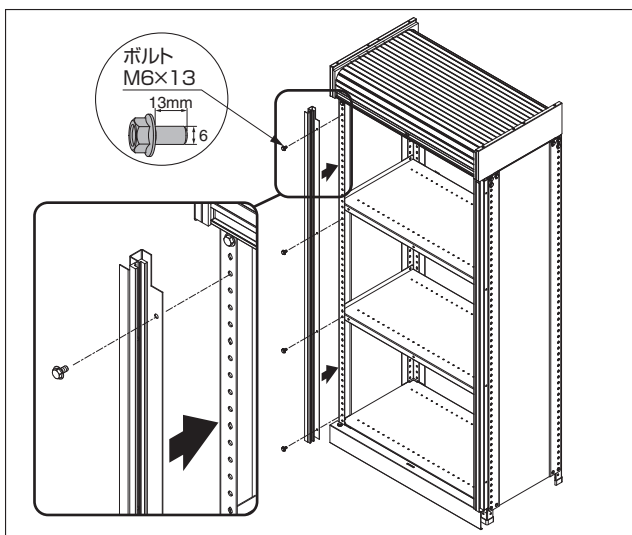


6 シャッターを上まで挿入します。

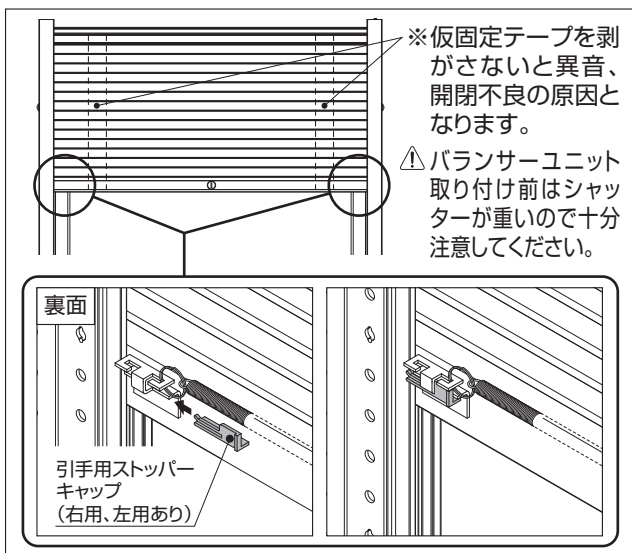


※シャッター裏面に貼り付けてある仮固定テープは10まで剥がさないでください。レール取り付け前に剥がすと、スラットがバラバラになってしまいます。

8 7のシャッターフレームを棚本体に取り付けます。

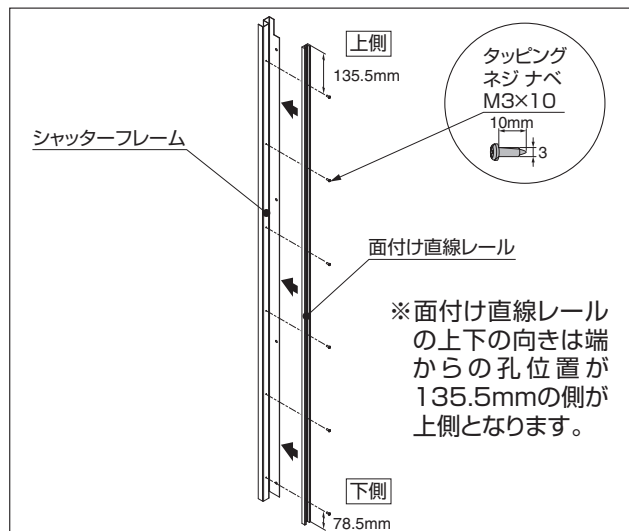


10 シャッター裏面の仮固定テープを剥がしてから、シャッター下部裏面(右、左)にバランサーユニットを引っかけます。

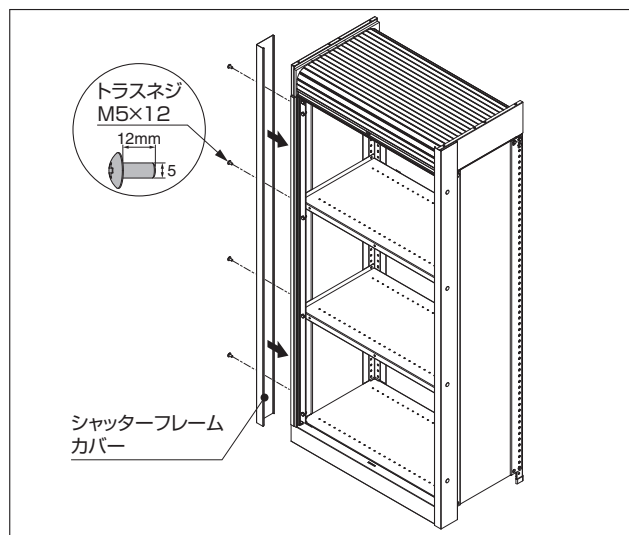


※バランサーユニットには外れ止めのキャップを取付けます。

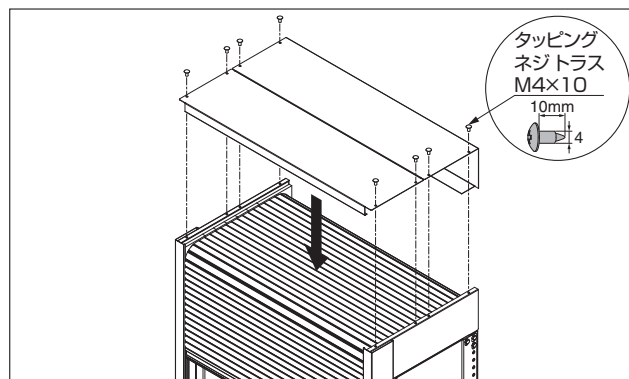
7 シャッターフレーム(右、左)に面付け直線レールの穴位置を合わせ、タッピングネジで留めます。



9 シャッターフレームカバーを取り付けます。



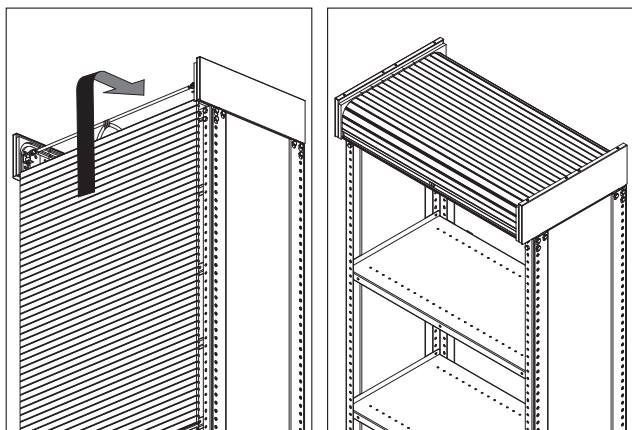
11 天部にカバーを取り付けて完成です。



【シャッターに関する注意事項】

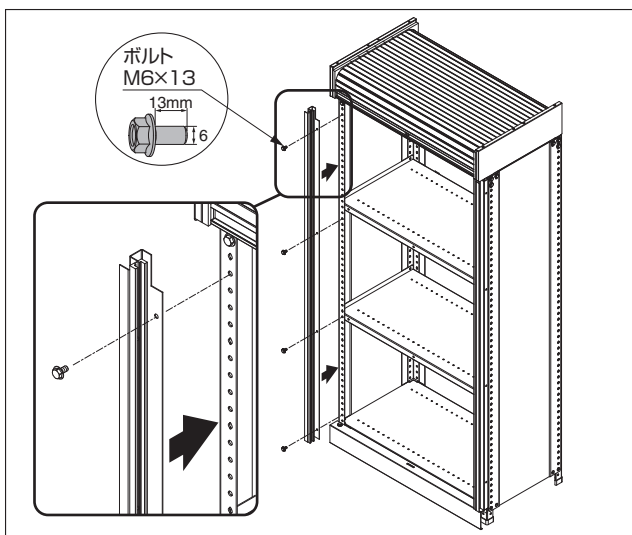
- ⚠ シャッターを開ける時は、必ずカチッと音がするロック位置まで完全に上げてからご使用ください。ロックが不十分な場合、シャッターが落下する危険性があります。
- ⚠ 鍵のロック板が飛び出した状態でシャッターを落下すると、鍵や巾木を破損する恐れがあります。
- ※レール部にシリコン系潤滑剤を塗布すると開閉が軽快になります。油系潤滑剤は劣化の原因となりますので使用しないでください。

6 シャッターを上まで挿入します。

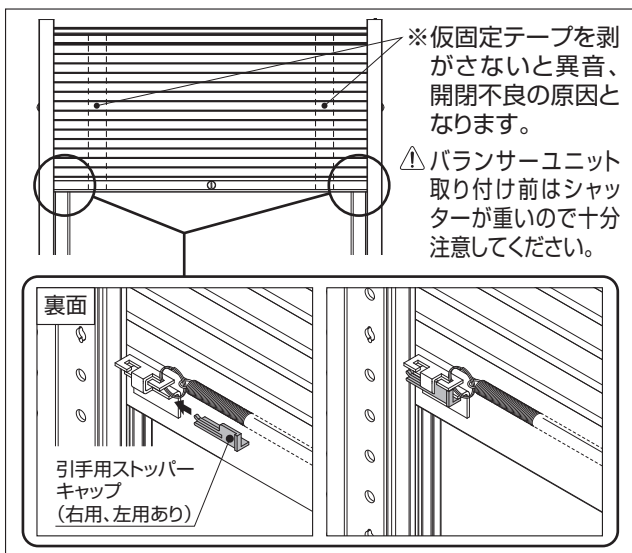


※シャッター裏面に貼り付けてある仮固定テープは10まで剥がさないでください。レール取り付け前に剥がすと、スラットがバラバラになってしまいます。

8 7のシャッターフレームを棚本体に取り付けます。

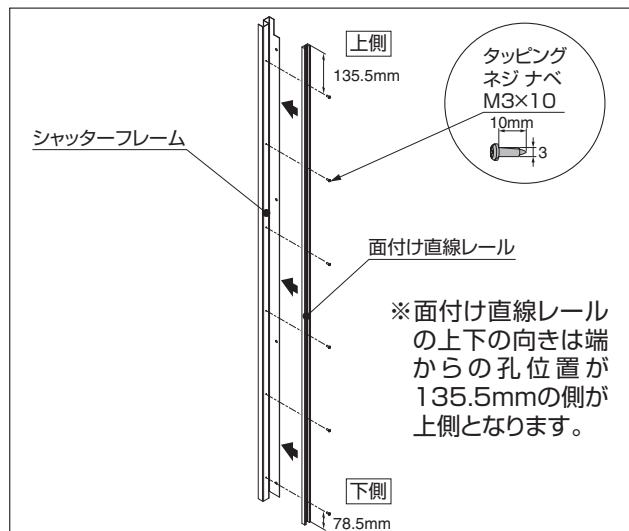


10 シャッター裏面の仮固定テープを剥がしてから、シャッター下部裏面(右、左)にバランサーユニットを引っかけます。

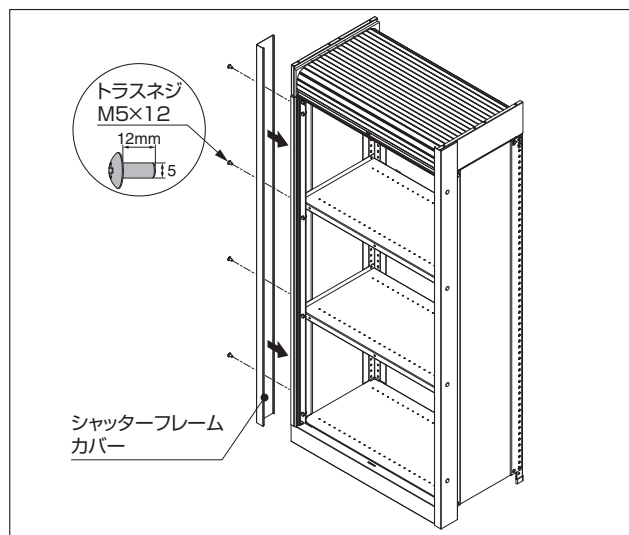


※バランサーユニットには外れ止めのキャップを取付けます。

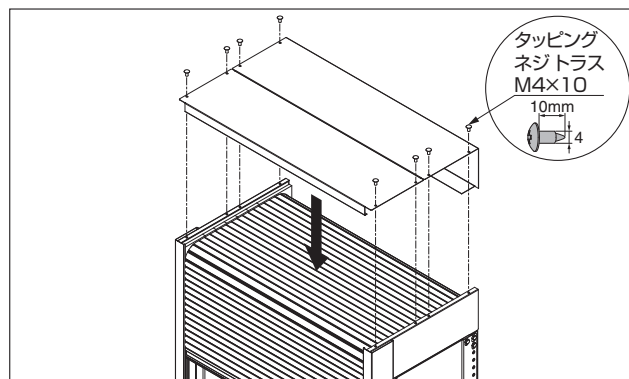
7 シャッターフレーム(右、左)に面付け直線レールの穴位置を合わせ、タッピングネジで留めます。



9 シャッターフレームカバーを取り付けます。



11 天部にカバーを取り付けて完成です。



【シャッターに関する注意事項】

- ⚠ シャッターを開ける時は、必ずカチッと音がするロック位置まで完全に上げてからご使用ください。ロックが不十分な場合、シャッターが落下する危険性があります。
- ⚠ 鍵のロック板が飛び出した状態でシャッターを落下すると、鍵や巾木を破損する恐れがあります。
- ※レール部にシリコン系潤滑剤を塗布すると開閉が軽快になります。油系潤滑剤は劣化の原因となりますので使用しないでください。